令和6年9月10日招集

令和6年

第5回若桜町議会定例会会議録

(令和6年9月10日)

若桜町議会事務局

職務のために議場に出席した者の職・氏名			
事務局長	上川 恭子		
書記	秋田 恵理香		
提出議案の項目			
件数	件名	議案名	議決結果
1	議案第52号	令和5年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
2	議案第53号	令和5年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
3	議案第54号	令和5年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
4	議案第55号	令和5年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
5	議案第56号	令和5年度若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
6	議案第57号	令和5年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
7	議案第58号	令和5年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
8	議案第59号	令和5年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
9	議案第60号	令和5年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
10	議案第61号	令和5年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
11	議案第62号	令和5年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
12	議案第63号	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
13	議案第64号	令和6年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
14	議案第65号	令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決

15	議案第66号	令和6年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
16	議案第67号	令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
17	議案第68号	令和6年度若桜町下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
18	議案第69号	若桜町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
19	議案第70号	若桜町総合整備計画の策定について	原案可決
20	議案第71号	若桜町総合整備計画の変更について	原案可決
21	議案第72号	若桜町有建物の貸付について	原案可決
22	議案第73号	若桜町有土地の貸付について	原案可決
23	議案第74号	業務委託契約の締結について	原案可決
24	議案第75号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
25	議案第76号	財産の取得について	原案可決
26	議案第77号	若桜町教育委員会の委員の任命について	原案承認

令和6年第5回若桜町議会定例会（第1号）

招集年月日	令和6年9月10日			
招集の場所	若桜町役場（若桜町議会議場）			
開 会	午前10時00分			
応招議員	1番	谷 口 貴	6番	山 本 晴 隆
	2番	森 田 二 郎	7番	川 上 守
	3番	梶 原 明	8番	中 尾 理 明
	4番	山 本 安 雄	9番	小 林 誠
	5番		10番	山 根 政 彦
不応招議員				
出席議員	1番	谷 口 貴	6番	山 本 晴 隆
	2番	森 田 二 郎	7番	川 上 守
	3番	梶 原 明	8番	中 尾 理 明
	4番	山 本 安 雄	9番	小 林 誠
	5番		10番	山 根 政 彦
欠席議員				
地方自治法第 121条の規定に より、説明のため 会議に出席した者	町 長	上川 元張	教 育 長	盛田 恭司
	副 町 長	川戸 伸二	政 策 統 轄 監	武田 詢
	代 表 監 査 委 員	谷口 秀昭	教育委員会次長	下石 裕美
	総 務 課 長	山口由企夫	町 民 課 長	川戸 康之
	企画政策課長	谷本 剛	福祉保健課長	藤原 祐二
	会 計 管 理 者	谷口 国彦	地域整備課長	竹本 英樹
	税 務 課 長	山本 賢一	経済産業課長	中島 毅彦
	地籍調査課長	矢部 広一	農業委員会事務局長	小林 貴之

令和6年9月議会定例会
会議の顛末
(本会議 9月10日)

議長（山根政彦）

皆さん、おはようございます。

ただ今の出席議員数は9人です。

定足数に達していますので、令和6年第5回若桜町議会定例会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

議事日程の報告

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。

日程第1

「会議録署名議員の指名」を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長において、川上守議員、山本晴隆議員を指名します。

日程第2

「会期の決定について」を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から9月20日までの11日間にしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(異議なし)

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から9月20日までの11日間に決定しました。

日程第3

「諸般の報告」をします。

会議関係諸般の報告は印刷してお手元に配布のとおりです。

朗読は省略します。

次に、議員派遣報告を行います。

令和6年6月定例会において議決し派遣を決定いたしました議員派遣について、報告書が提出されています。

議会報告第10号 令和6年度鳥取県町村議会広報研修会につきましては、

印刷をしてお手元に配布のとおりです。

朗読は省略します。

次に、常任委員会に付託した請願等について報告します。

8月28日までに受理した請願等は、お手元に配布の請願等文書表のとおりで、会議規則第92条第1項の規定により、陳情第5号、請願第9号、請願第10号、請願第11号は、総務産業教育民生常任委員会に審査を付託しました。

続いて、町長からの行政報告事項は、報告第5号 令和5年度若桜町財政健全化判断比率等の報告について、報告第6号 債権の放棄についてで、お手元に配布のとおりです。

朗読は省略します。

日程第4

議案第52号 令和5年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定について、議案第53号 令和5年度 若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第54号 令和5年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第55号 令和5年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第56号 令和5年度 若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第57号 令和5年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第58号 令和5年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第59号 令和5年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第60号 令和5年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第61号 令和5年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第62号 令和5年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について、を一括して議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

議案第52号 令和5年度若桜町一般会計歳入歳出決算の認定について、であります、この決算は、歳入総額43億7,062万7,699円、歳出総額40億5,870万6,789円で、歳入歳出差引額3億1,192万910円となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は2億2,079万3,333円となりました。

主な施策の成果について各費目別にその概要を申し上げます。

議会費では、常任委員会及び各特別委員会で、所管事項の調査研究がされております。

総務費では、地域情報通信基盤施設整備事業で、集落公民館及び各戸に設置してありますIP告知端末機を令和5年度からの3カ年の計画で更新しておりますし、スマートフォンアプリサービスを追加して利便性を図っております。

移住定住促進事業では、住宅支援補助金の拡充や移住イベントに積極的に参加しPRを行ったところ、令和5年度における県外からの移住者は前年度比1.6倍増加しました。

地方創生事業では、若桜鉄道ブランドの浸透に向けた地場産品を活用した特産品開発の取組や集客力向上に向けた需要創出を推進し、また、因幡・但馬麒麟のまち圏域1市6町の自治体と連携して令和4年度に引き続き観光関連事業を実施しております。

買い物環境整備対策事業では、「買い物難民ゼロ」「持続可能な買い物環境」「地域経済の循環」を目指して取組んだところ、エスマートわかさ店が開店し食料品スーパーの維持存続を果たすことが出来ましたし、移動販売も継続していただけることになりました。

若桜鉄道対策事業では、施設の維持管理を行い輸送の安全確保に努めるとともに、運行支援や利用促進を図り若桜鉄道の維持存続に

努めております。

バス運行事業では、若桜町公共交通計画に則して町内全域を対象とするドアツードア型のデマンド交通の推進を図っており、令和5年度は小船・落折地区の地域コミュニティタクシーが試験運行を開始しました。

また、地域内交通の確保や低炭素モビリティの普及を進めるため、グリーンスローモビリティの運行実証実験を行っております。

民生費では、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、生活困窮者自立支援、生活保護など、地域で安心して暮らすための各種福祉事業を実施しております。

また、本年度開催されます全国健康福祉祭、愛称ねりんピックに向けたプレ大会を開催するとともに、成功に向け先進地を視察しております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得者等へ給付金の支給や光熱費の一部を助成いたしました。

衛生費では、健康増進や維持のための体力づくり事業、インフルエンザ予防や肺炎予防などの予防接種事業、また、妊婦検診や乳幼児健診などの母子検診事業、肝臓がん検診をはじめとする各種がん検診や健康相談などを実施し、生活習慣病の予防や早期発見に取り組みました。

この他、新型コロナウイルスワクチン接種のための体制整備に取組み、新型コロナウイルスによる重症化や感染を予防することに努めております。

農林水産業費では、中山間地域等直接支払制度や多面的機能直接支払事業の実施により、農用地及び水路・農道等の維持・管理を行い、耕作放棄地の発生を防止し農地の保全に努めております。

また、担い手の確保、米生産の維持に向けた町内生産者の有利販売の促進、エゴマを使った特産品開発やブランド化など、農業の振興を図っております。

有害鳥獣対策では、侵入防止柵の設置支援や猟友会と連携してシカやイノシシの積極的な捕獲対策を推進して農作物被害の軽減を図りました。また、わかさ29工房の適正な運営にも努めております。

林業では、林業団体の育成を推進し、知識や技術の習得及びグループ活動の促進を図り、また、若桜町産材の需要拡大をはじめ、森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、民有林・町有林の保育事業の推進と林道、作業道の開設を推進し、素材生産の増加を図ってまいりました。引き続き森林整備の推進により、森林の有する多面的機能の維持増進を図り、多様で健全な森林を次世代に引き継いでいく必要があると考えております。

地籍調査につきましては、地籍調査課を新設して取組んでおり、山地についても調査を推進し進捗率を上げるよう努めております。

商工費では、本町の商工業の発展のため、若桜町商工会への運営費補助や創業・開業促進支援等を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響や円高・物価高騰により減少した地域内消費の活性化を図るための暮らし応援券事業、さらには、売上が減少している中小企業等に対して事業の継続を支援するなど、中小企業の振興と住民の地域内消費を推進いたしました。

観光事業では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、若桜町観光協会や氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会をはじめとした各種団体と連携してイベントを実施して集客促進を図り、県内外から多くの方々に来訪していただき、その中には外国人の姿も見られるようになりました。

また、氷ノ山ではEバイク、グラススキーや子どもの遊び場を設けるなどイベントを実施してグリーンシーズンの集客促進を展開しております。

土木費では、安全な交通基盤を確保するため、町道の維持管理・橋梁補修・新設改良、

消雪施設の改修などを行いました。

また、住宅管理費では町営住宅の修繕、公園費では、子どもたちが安全に遊ぶことができるよう、中之島公園遊具の修繕や点検を行っております。

消防費では、消防団・自警団、自主防災組織への活動支援をはじめ、消防防災専門員を配置して各集落に出向き、防災への危機意識の醸成に努めるなど、安心・安全の暮らしを守る地域防災力の強化、災害に強いまちづくりのため環境整備などを行いました。

避難所につきましては、非常食や消毒用品などの消耗品、停電時に備えポータブル蓄電池を整備しました。また、災害時に活動していただく防災士の育成に努め、計画的に資格取得者を養成しております。

教育費では、ICTを効果的に活用した授業を行うため、教職員に対して支援するICT教育プランナー業務を委託しております。

また、子育て家庭への支援として、入学祝い金や進級祝い金の贈呈、通学費及び校外活動や教材費等の助成、学園給食費の全額助成などを行い、保護者の負担軽減を図っております。

社会教育費では、PTA活動や青少年育成若桜町民会議へ活動支援、放課後児童クラブなど、学校・家庭・地域が連携をして児童・生徒の健全育成を図っています。

公民館費では、文化サークルや各イベント及び各種講座を開催して生涯学習の機会を提供しました。

人権同和教育では、部落解放研究集会、小地域学習会、人権問題公開講座の開催、各県外研修会等に参加して人権意識の高揚を図っております。

文化財保護では、若桜鬼ヶ城跡からの景観向上のため支障木の伐採を行うとともに、散策ツアーを開催して町内外の方々へ歴史的価値を再認識していただきました。

若桜宿重要伝統的建造物群保存地区について

ては、町内外に広報するとともに、保存と活用の在り方について地域住民と検討を行っております。

また、平成26年度から始まった町誌の編纂作業が終了し「続 若桜町誌」が発刊され、全戸及び関係機関に配布しました。

保健体育費では、スポーツの振興を通して健康で明るいまちづくりを推進するため、各種スポーツ団体への支援、温水プール・八幡広場を活用した健康増進・体力づくりなどに努めております。

災害復旧費では、令和5年8月15から16日の台風第7号により被災した、農地や農道・水路などの農業用施設、林道、河川、また、町道の災害復旧事業を行っております。

公債費では、地方債の償還を行っております。

以上、令和5年度に執行した施策の概要を申し上げましたが、歳入では、主に地方交付税、寄付金、繰入金、繰越金及び町債が増額となり、対前年3億4,988万円余りの増額となっております。

歳出では、物件費及び繰出金が前年度に比べ大幅に増加したことにより、対前年比3億4,099万円余り増加しております。

令和5年度の本町の財政健全化判断比率は、いずれの数値も国の示す基準以下となりました。実質公債費比率は、18%以上で適正化計画を策定することになりますが、3年間の平均値で8.9%と、前年対比1.0ポイント上昇しております。これは、事業実施による物件費の増加及び過去に実施した事業分の起債元金償還が始まったことにより、前年と比較して公債費が増加したためであると分析しております。引き続きこれらの判断比率を注視しながら、健全な財政運営に努めてまいりたいと考えております。

次に、議案第53号 令和5年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、であります。この決算は、歳入総

額4億3,231万7,521円、歳出総額4億1,767万2,424円で、歳入歳出差引額1,464万5,097円となりました。

歳入では、保険税、国・県支出金及び財産収入で、対前年1,182万円余りの増額となり、他の科目では全て減額となりましたが、総額では706万円弱の増額となっております。

なお、現年度分の保険税の収納率は96.75%で、前年を2.32ポイント下回りましたが、県内では高い収納率を維持しております。

歳出では、保険給付費を除くすべての科目で減額となっておりますが、対前年総額1,111万円余りの増額となっております。

次に、議案第54号 令和5年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、であります。この決算は、歳入総額6億3,847万410円、歳出総額5億9,666万1,766円で、歳入歳出差引額4,180万8,644円となりました。

歳入では、対前年1,734万円余りの減額となりましたが、これは、介護給付費等の減額に伴う国庫支出金の減額が主な要因です。

また、歳出につきましても、対前年698万円余りの減額となっております。これは、総務費及び諸支出金は増額となっておりますが、保険給付費及び地域支援事業費などその他の項目で大きく減額となったことが主な要因となっております。

次に、議案第55号 令和5年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、であります。この決算は、歳入総額6,419万7,723円、歳出総額6,419万1,023円で、歳入歳出差引額6,700円となりました。

この会計は、被保険者の方に収めていただいた保険料を鳥取県後期高齢者医療広域連合へ納付する会計であります。

歳入においては、保険料と一般会計繰入金
が主な財源で、この他に繰越金、諸収入で構
成しており、歳出において、総務費、広域連
合納付金、諸支出金を支出しております。

次に、議案第56号 令和5年度若桜町簡易
水道事業特別会計歳入歳出決算の認定につ
いて、であります。この決算は、歳入総額2
億3,309万5,432円、歳出総額1億
3,559万989円で、歳入歳出差引額9,
750万4,443円は全額翌年度に繰り越
すべき財源としております。

主な事業は、若桜・赤松地区統合事業に係
る送水・浄水・配水施設等の整備工事、また、
糸白見地区統合事業に係る測量詳細設計業務
等の他、水道施設修繕、漏水調査などで、安
全で安定した飲料水の供給に努めております。

次に、議案第57号 令和5年度 若桜町公
共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて、であります。この決算は、歳入総
額1億6,007万7,851円、歳出総額
1億1,757万1,822円で、歳入歳出
差引額4,250万6,029円は全額翌年
度に繰り越すべき財源としております。

事業の概要といたしましては、若桜浄化セ
ンター汚水ポンプの修繕及び若桜及び眷米浄
化センターの維持管理や地方債の償還となっ
ております。

次に、議案第58号 令和5年度若桜町農業
集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて、であります。この決算は、歳入総
額1億7,874万2,084円、歳出総額
6,071万1,779円で、歳入歳出差引
額1億1,803万305円は全額翌年度に
繰り越すべき財源としております。

事業の概要といたしましては、吉川及び池
田中央地区浄化センターの維持管理の他、地
方債の償還を行っております。

次に、議案第59号 令和5年度若桜町赤松
団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて、であります。この決算は、歳入、

歳出ともに55万8,004円となりました。

事業の概要といたしましては、一般会計へ
の繰出金と地方債の償還であります。

次に、議案第60号 令和5年度若桜町財産
区造林事業特別会計歳入歳出決算の認定につ
いて、であります。この決算は、歳入、歳
出ともに78万5,800円となりました。

この事業は、財産区造成林地において森林
の公益的機能の維持を図るため、森林整備セ
ンターと分収造林契約を締結した森林の整備
を実施いたしました。

次に、議案第61号 令和5年度若桜町索道
事業特別会計歳入歳出決算の認定について、
であります。この決算は、歳入、歳出とも
に6,363万9,733円となりました。

事業の概要といたしましては、スキー場の
管理運営を円滑に行うため、いぬわしリフト
整備工事及び圧雪車の修繕などを行っており
ます。

次に、議案第62号 令和5年度若桜町住宅
新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の
認定について、であります。この決算は、
歳入、歳出ともに40万6,500円となり
ました。

この会計では、滞納となっている貸付金の
うち、31万円余りを回収しております。な
お、貸付金の滞納額が8,527万円余りあ
ることから、滞納者本人をはじめ連帯保証人
に対しても督促を行い、引き続き、貸付金の
回収に取り組んでまいります。

以上でございます。ご審議のほどよろしく
お願いいたします。

議長（山根政彦）

本案の審議に先立ち、監査委員の審査意見
報告を求めます。代表監査委員谷口秀昭さん。

代表監査委員（谷口秀昭）

失礼します。令和5年度若桜町歳入歳出決
算・基金運用状況について、梶原監査委員と

行った審査意見を報告します。

1 審査の対象、(1)歳入歳出決算、ア 一般会計、令和5年度若桜町一般会計歳入歳出決算、イ 特別会計、①令和5年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算他、②から⑩番まで特別会計の歳入歳出決算です。

(2)上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書、(3)基金運用状況。

2 審査の方法、(1)決算審査にあたっては、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が、地方自治法第233条第1項の規定により調製されているか否かを確認、関係証拠書類等により係数の正確性を確認するとともに、関係当局の説明を求め、併せて例月出納検査・定期監査等の結果を勘案し、予算の執行が的確に行われたかどうかについて慎重に審査した。

重点項目及び着眼点、決算その他関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、予算の執行及び事業の経営が適正かつ効率的であるか、また、財政運営が適切に行われているかを重点項目とし、次の項目を着眼点とした。

(ア)違法又は不当な調定及び調定漏れはないか。(イ)調定の時期及び手続きは適正か。

(ウ)収入方法、収入時期は適切か。(エ)収入未済額及び不納欠損額は適正か。(オ)滞納整理について努力が払われているか。(カ)事務、事業の進捗状況は妥当か。(キ)予算額に対して多額の不用額を生じているものはないか。(ク)予備費の充用、予算流用の理由及び額は適正か。(ケ)委託料、工事請負費等の支出時期及び額は適正か。また、検査、検収は確実にされているか。(コ)補助金、交付金、負担金等の支出の必要性、有効性、支払時期及び額は妥当か。また、精算報告は確実にされているか。(サ)繰越明許、事故繰越等の理由、金額及び手続きは適正か。(シ)用地購入費及び用地の賃貸借料は妥当な額か。

(ス)固定資産台帳を活用し、資産の適切な管理は行われているか。(セ)前年度において指摘した事項について、必要な措置がとられたか。

(2)基金の運用状況審査にあたっては、基金の運用状況を示す書類の計数の正確性を検証するとともに、基金の運用が適切かつ効率的に行われているかどうかを重点項目とし、次の項目を着眼点とした。

重点項目及び着眼点、(ア)基金の設置目的に従って、確実かつ効率的に運用されているか。(イ)違法、不当な運用はないか。(ウ)収支の計算は正確か。なお、各会計の決算概要は別紙のとおりである。

3 審査の期間、令和6年8月1日、2日、5日、6日、7日、8日、9日の7日間。

4 審査結果の報告、各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めた。

また、会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。なお、基金における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。

5 指摘事項、教育委員会関係予算不用額の確認をしたところ、5年度に支払うべき経費の未払いが3事業判明した。

内訳は、①小学校管理費・学校医報酬が3件、155,340円、②中学校管理費・学校医報酬が3件、136,274円、③学園管理費・学校評議員報償費が4件、20,000円である。以上の3事業は実施されているにもかかわらず、支払われず予算現額が不用額として処理されていた。今後再発しないように対策を講じられたい。

6 留意、検討を要する事項、事務事業の執行にあたり留意、検討を要する事項は次のとおりである。

(1) 財政運営の指標について、財政関係指標等の数値は次のとおりである。経常収支比率は91.9%で、前年度88.3%から3.6ポイント増加し、財政指数が硬直化している。これは、物件費の増加や元利償還金がピークを迎えている他、会計年度任用職員の共済組合加入による負担金や人事院勧告の伴う期末勤勉手当の増額により人件費が増加したことなどが主な要因である。

今後とも限られた財源の有効活用に努め、経常経費の抑制や既存事業の見直しを図るなど、これまで以上に簡素で効率的な行財政運営を意識され、指標となる70%台に向けた改善努力を望む。

(2) 各種税と使用料等について

① 町税他各種保険料等について、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税における現年度分の収納率はすべて99.3%以上で、滞納繰越分を含めても92.6%となっており、これらは対前年で0.3ポイント増加しているが、町民税については、現年度分及び滞納繰越分を含めても99.0%で、県内でもトップクラスであり、評価できる。

国民健康保険税現年度分の収納率は96.8%、滞納繰越分は11.3%、合計で91.1%、対前年2.0ポイント減少。介護保険料現年度分の収納率は99.9%、滞納繰越分は43.8%、合計で99.7%、対前年変わらず。後期高齢者医療保険料現年度分の収納率は100.0%、滞納繰越分は99.0%、合計で100.0%対前年変わらず。

また、不納欠損については、固定資産税において122千円、軽自動車税において10千円、国民健康保険税において454千円、介護保険料において57千円をそれぞれ実施された。引き続き新たな滞納者が増加しないよう滞納処分の強化を図り、滞納額の減少と徴収率の向上に向けて努力されたい。

②各種使用料と住宅新築資金等貸付金について、現年度分の徴収率は、農業集落排水使

用料は99.2%で対前年比0.5ポイント減少、改良住宅使用料は93.9%で、対前年比4.6ポイント減少、町営住宅使用料は97.1%で対前年比0.4ポイント減少、簡易水道使用料は98.5%で対前年比0.9ポイント減少、公共下水道使用料は98.7%で対前年比0.5ポイント減少している。

また、不納欠損については、下水道使用料において188千円を実施された。引き続き「新たな滞納者を出さない」という強い姿勢での効率的で積極的な未収金回収対策の取り組みが必要である。

また、住宅新築資金等貸付金の滞納額は85,274千円で徴収率は0.4%である。債務者別の回収計画に沿った取り組みと、滞納額の減少に向けた取り組みを引き続き実施されたい。

(3) 地籍調査事業の推進について、当町の地籍調査は、令和5年度末で調査対象面積145.16平方キロメートルのうち、調査済みとなっているのは5.31平方キロメートルである。進捗率は3.7%にとどまり、県内市町村で最下位となっている。

令和6年度より、人員体制を整え、進捗率の向上を図るため平野部と山林部を並行調査されるとのことだが、人口減少や高齢化が進んでおり、立会が更に困難になるため、早急に対応願いたい。

(4) 若桜鉄道対策事業について、鉄道施設保守及び管理委託料を若桜鉄道対策費で負担し続けている。SL・DL等の運行も検討されているが、観光列車等の老朽化に伴い車両更新も予定されている。効率的な事業実施を行うとともに、八頭町と連携しアフターコロナにおける若桜鉄道の利用促進施策や活用方法を引き続き検討を行い、インバウンドを含めた交流人口・関係人口の増加に努めていただきたい。

(5) バス運行事業について、地域コミュニティタクシーに、新たに1団体が加わり3団

体（吉川、高野・上高野、落折・小船）となった。デマンド交通は、免許返納等により利用が毎年増加している。定期路線運行から町内全域を対象とするドアツードア型のデマンド交通へ、若桜町公共交通計画に沿った運行方法への移行を行い、地域住民に寄り添った利便性の高い公共交通を確立していただきたい。

（６）ふるさと納税推進事業について、返礼品の表示方法などを改善し見栄え向上とサイトの拡充により納税者数は大幅に増え、令和５年度の寄付額は６４，１０５千円で前年比３１０％となった。これは、共通返礼品である梨の申し込みが好調なことが主な要因である。今後も、他ポータルサイトなどを参考にして、特徴のある地元の返礼品を開発努力されたい。

（７）基金の運用について、令和５年度末の基金残高は２，５４７，６３６，４３１円あり、金融機関への定期預金（０．００２％～０．００５％）普通預金（０．００１％）、債券（国債）で運用されている。令和５年度は、若桜町公金の管理及び運用に関する要綱に基づき、定期預金より金利の高い債券購入を開始された。今後も安全かつ効果的な債券運用を実施されたい。

７ まとめ、令和５年度一般会計の決算額は、歳入４３億７，０６３万円、歳出４０億５，８７１万円、差引残額３億１，１９２万円で、繰越財源を控除した実質収支は２億２，０７９万円の黒字決算となっている。

また、特別会計（１０会計）の実質収支額では、国民健康保険事業１，４６５万円、介護保険事業４，１８１万円、後期高齢者医療１万円、簡易水道事業９，７５０万円、公共下水道事業４，２５１万円、農業集落排水事業１億１，８０３万円、の６会計が黒字決算であるがこれは、一般会計から繰り入れを受けた結果である。残りの赤松団地造成事業、財産区造林事業、索道事業、住宅新築資金等

貸付事業の４会計は、実質収支額０円である。

なお、令和６年度より、簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の３会計が、特別会計から公営企業会計へと移行することに伴い、基金の取り崩しを行っている。

財政運営の指標の中で、実質公債費比率（３ヶ年平均）は、８．９％で１．０ポイント、経常収支比率は９１．９％で３．６ポイントそれぞれ上昇しており、財政指数が硬直化してきている。

今後、地方債残高の元利償還金が増加する一方、人口減少が進むことにより基準財政需要額算定で交付税が減少することが予想され、物件費、人件費の増加が見込まれることから、経常収支比率がさらに上昇する恐れがある。

事業計画するにあたり、よく検討したうえで、公債の発行と基金の取り崩し等についてバランスを取っていくことが必要と思われる。

一般会計の歳出執行割合が８６．２％で、翌年度繰越額が３億２，４３０万円計上されている。事業実施するにあたり、繰越せざるを得ない案件と思われるが、今後予算計上について十分検討願いたい。

決算審査で各課等より提出された資料の課題については、今後早急に検討され、合理的かつ効果的な行政運営が行われるよう期待している。以上でございます。

議長（山根政彦）

ただいまの審査意見報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

審査意見報告に対する質疑を終結します。

続いて、先ほど町長から提案理由の説明がありました議案第５２号から第６２号までの議案に対して、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

お諮りします。

議案第52号から議案第62号までの議案については、議員全員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、会期中に審査することにしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(異議なし)

異議なしと認めます。

したがって、本案は議員全員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、会期中に審査することに決定しました。

委員会条例第5条第1項の規定により、本会議終了後、決算審査特別委員会を全員協議室に招集いたします。

議事の都合により暫時休憩します。

(谷口秀昭代表監査委員 退室)

議長 (山根政彦)

休憩前に引き続き、会議を再開します。

日程第5

議案第63号 令和6年度若桜町一般会計補正予算(第3号)を議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長 (上川元張)

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

議案第63号 令和6年度若桜町一般会計補正予算について、でございますが、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億221万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を46億754万円とするものでございます。また、第2条の地方債の変更は、「第2表 地方債補正」のとおりでございます。

はじめに、歳入の概要についてご説明いたします。分担金及び負担金では、大阪行き高速バスの若桜経由便の試験運行事業負担金として75万5千円を追加しております。

国庫支出金では、郵便局事務取扱法に基づく郵便局の設備体制を整備するため個人番号カード交付事務費補助金199万8千円、所得税及び住民税の定額減税に係る財源として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2,568万5千円、就学自立給付金等の見直しに係る生活困窮者就労準備支援事業費等補助金75万円をそれぞれ追加しておりますし、デジタル田園都市国家構想交付金6,357万2千円を減額しております。

県支出金では、地域食堂運営支援事業として、子どもの居場所づくり事業補助金136万3千円、農地集積を図る農地中間管理事業補助金105万円、そばの産地化・ブランド化を図るため鳥取県安心して住み続けられるふるさとづくり応援補助金事業861万6千円をそれぞれ追加しておりますし、みんなで取組む将来に向けた活力促進事業費補助金1,000万円、観光アプリ導入に係る鳥取県体験型観光コンテンツ造成支援事業補助金200万円をそれぞれ減額するなど、その他の補正と合わせまして総額196万6千円を増額いたしました。

繰入金では、介護保険事業特別会計繰入金40万4千円を追加しておりますし、財政調整基金繰入金6,829万7千円を減額いたしました。

繰越金では、前年度繰越金として1億1,898万円を追加しております。

諸収入では、新型コロナ定期接種ワクチン確保体制事業助成金として728万7千円、損害賠償に係る保険金5万5千円をそれぞれ追加しておりますし、内示額に伴い人生100年時代づくり地域創生ソフト事業交付金69万4千円を減額しております。

町債では、過疎対策事業債6,280万円、辺地対策事業債1,410万円をそれぞれ追加しております。

次に、歳出の主なものについて、ご説明いたします。

総務費では、庁舎等財産管理に513万4千円、バス運行事業に371万1千円、定額減税に係る賦課徴収費に2,568万5千円、郵便局の設備体制に係る戸籍住民基本台帳事務に199万9千円をそれぞれ追加しておりますし、旧菴米分校改修費用中山間地域振興事業2,000万円を減額するなど、その他の補正と合わせまして総額1,911万1千円を追加いたしました。

民生費では、生活困窮者自立支援事業、介護保険事業特別会計繰出金、自立支援給付事業や生活保護総務費など複数の事業にわたり、前年度実績に基づく補助金等の返還金を計上するとともに、地域食堂運営支援事業に206万円を追加するなど、その他の補正と合わせまして、総額989万円を追加いたしました。

衛生費では、定期予防接種、母子保健相談事業や未熟児養育医療で前年度実績に基づく返還金を計上するとともに、定期予防接種委託料として894万7千円、簡易水道会計繰出金に1,920万6千円をそれぞれ追加するなど、その他の補正と合わせまして総額2,903万6千円を追加いたしました。

農林水産業費では、農業振興費に1,723万4千円、農地中間管理事業に105万円、林道事業に400万円をそれぞれ追加するなど、その他の補正と合わせまして総額2,247万4千円を追加しております。

商工費では、創業する事業者を支援する商工振興事業に300万円、氷ノ山高原の宿氷太くん管理運営事業に132万円をそれぞれ追加しておりますし、観光事業費149万2千円を減額するなど、その他の補正と合わせまして総額437万円を追加しております。

土木費では、消雪施設修繕に係る費用として道路維持費に209万円、道路新設改良事業に327万2千円、町営住宅の修繕等に係る費用として306万円、宅地造成事業に346万4千円をそれぞれ追加するなど、その

他の補正と合わせて1,291万6千円を追加しております。

消防費では、被災者支援システムに係る費用として災害対策事業に211万4千円を追加しております。

教育費では、若桜学園防火シャッター修繕等に係る費用として若桜学園管理費に65万8千円、奨学資金に24万円、温水プール管理に88万円をそれぞれ追加するなど、その他の補正と合わせまして総額230万6千円を追加いたしました。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

日程第6

議案第64号 令和6年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）、議案第65号 令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）、議案第66号 令和6年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第1号）、議案第67号 令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第2号）、議案第68号 令和6年度若桜町下水道事業会計補正予算（第2号）を一括して議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

はじめに議案第64号 令和6年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算について、でございますが、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,254万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億7,201万3千円とするものでございます。

歳入につきましては、県支出金210万円を減額し、前年度繰越金1,464万4千円を追加しております。

歳出につきましては、国民健康保険財政調整基金事業積立金1,463万8千円を、諸支出金では令和5年度の実績に伴う返還金として6千円をそれぞれ追加しておりますし、保険給付費210万円を減額しております。

続きまして、議案第65号 令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算について、でございますが、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,673万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億787万9千円とするものでございます。

歳入につきましては、前年度繰越金に4,138万6千円を追加したことに伴い、財源不足を補うために繰り入れることとしておりました財政調整基金繰入金1,464万9千円を減額しております。

歳出につきましては、介護給付費準備基金積立金999万8千円、諸支出金では令和5年度の実績に伴い返還金として、1,606万7千円、繰出金40万4千円をそれぞれ追加しております。

なお、予備費において歳入歳出総額の調整を行うため、26万8千円を増額しております。

続きまして、議案第66号 令和6年度若桜町索道事業特別会計補正予算について、でございますが、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ6,325万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億5,574万5千円とするものでございます。また、第2条の地方債の変更は、第2表「地方債補正」のとおりでございます。

歳入につきましては、雑入に消費税還付金5万円、辺地対策事業債6,320万円をそれぞれ追加いたしました。

歳出につきましては、スノーピアグレンデに配置しております圧雪車の買い替えに伴う

費用として6,325万円を増額しております。

続きまして、議案第67号 令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算について、でございますが、収益的収入及び支出にそれぞれ1,920万6千円を増額補正しております

歳入につきましては、簡易水道事業収益として一般会計からの繰入金1,920万6千円を追加しておりますし、歳出につきましては、簡易水道事業費用として濾過池改修に係る費用1,920万6千円を増額しております。

続きまして、議案第68号 令和6年度若桜町下水道事業会計補正予算について、でございますが、資本的収入及び資本的支出にそれぞれ346万4千円を増額補正しております。

資本的収入では、一般会計から工事負担金として346万4千円を追加しておりますし、資本的支出では、管路建設改良費346万4千円を増額しております。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

日程第7

議案第69号 若桜町国民健康保険条例の一部改正について、を議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

議案第69号 若桜町国民健康保険条例の一部改正について、でございますが、これは、番号法等一部改正法により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、

被保険者証の返還に応じない者に対する罰則規定を削除するため、本条例の一部を改正するものでございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありますか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

日程第8

議案第70号 若桜町総合整備計画の策定について、議案第71号 若桜町総合整備計画の変更について、を一括して議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

はじめに議案第70号 若桜町総合整備計画の策定について、でございますが、これは、大野及び小船集落において地域情報通信基盤施設整備事業実施に伴い、その財源となる辺地事業債を充当するため、それぞれの集落において総合整備計画を策定するものでございます。

続きまして、議案第71号 若桜町総合整備計画の変更について、でございますが、これは、菴米地区及び吉川地区において本計画の事業の追加等及び予定額の変更を行い、これの財源として辺地事業債を充当するため、本計画の変更を行うものでございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありますか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

日程第9

議案第72号 若桜町有建物の貸付について、議案第73号 若桜町有土地の貸付について、を一括して議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

議案第72号 若桜町有建物の貸付について、及び議案第73号 若桜町有土地の貸付について、でございますが、これは、令和6年10月1日に若桜駅前ビルを若桜町が取得し、エスマート株式会社に賃貸借するよう計画しておりますが、持続可能な買い物環境を構築するために、貸付金額を減額するものでございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありますか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

日程第10

議案第74号 業務委託契約の締結について、を議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

議案第74号 業務委託契約の締結について、でございますが、これは、若桜町IRU告知システム等更改業務の契約を締結することについて、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、次のとおり、本議会の議

決をお願いするものでございます。

その内容は、1 業務名、若桜町 I R U 告知システム等更改業務（2年目）。2 業務場所、若桜町役場、放送センター。3 契約の相手方、鳥取県鳥取市湯所町2丁目258番地、西日本電信電話株式会社 鳥取支店 支店長 小川原 秀哉。4 契約金額、金142,780,000円。5 契約の方法、随意契約。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

日程第11

議案第75号 損害賠償の額を定めることについて、を議題とします。

提案理由の説明を求めます。上川町長。

町長（上川元張）

それでは、ただいま議題となりました議案につきまして、提案理由をご説明いたします。

議案第75号 損害賠償の額を定めることについて、でございますが、これは、令和6年5月17日、町道西町2号線において、軽トラックが横断溝を通過した際、床版の受けの一部が欠損していたため床版が跳ね上がり、車底に損傷を与えたものであり、損害賠償を行うものであります。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（山根政彦）

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（質疑なし）

質疑なしと認めます。

以上で、本日の日程は全部終了しました。
本日はこれにて散会します。

午前11時14分 散会